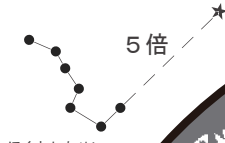


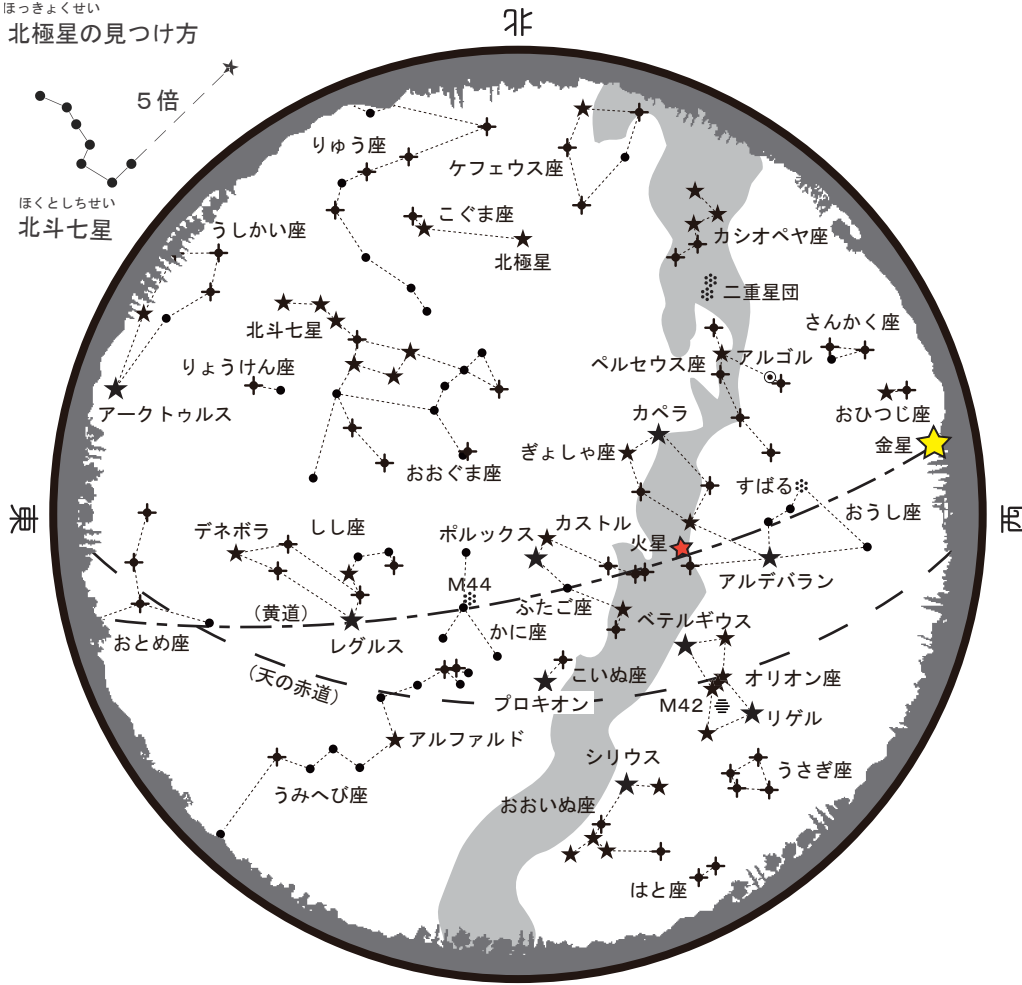
富山で見える 2023年3月の星空

自分の見たい方向を下にして、その方向の空を見よう。

ほっきょくせい
北極星の見つけ方

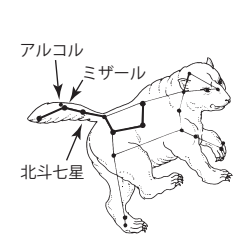


ほくとしちせい
北斗七星



- ★ 1等星と、より明るい星
- ★ 2等星
- ✦ 3等星
- 4等星と、より暗い星
- ◎ 変光星
- ※ 星団
- ≡ 星雲
- ⑨ 銀河

~月のようす~	まんげつ	○
~この星空が見えるのは~	3月 7日	満月
	3月 15日	下弦
	3月 22日	新月
	3月 29日	上弦
	3月 5日 午後9時ころ	
	3月 20日 午後8時ころ	
	4月 5日 午後7時ころ	



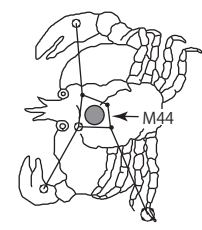
おおぐま座
ほっきょくせい さが めじるし
北極星を探す目印として有名な、ひしゃくの形をした「北斗七
星」がある星座です。北斗七星は、クマの背中からしっぽの部分
になります。ひしゃくの持ち手の端から2番目の星は、ミザール
とアルコルという、目がよい人は肉眼でも分かる二重星です。



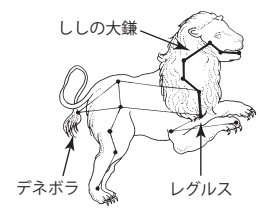
こぐま座
ほっきょくせい
長いしっぽの先に北極星があります。おおぐま座とは親子のク
マと言われています。こぐま座には北極星と同じくらいの明るさ
の2等星コカブがあり、北斗七星から北極星を探すときに間違え
てしまうことがあるので注意しましょう。



ふたご座
なまよ なら
冬の大きな三角の上で、仲良く並んだ2つの明るい星がふたご座の
目印です。黄色っぽい1等星が弟の星ポルクス、白い2等星が
兄の星カストルで、色の違いがきれいです。肉眼でひとつに見え
るカストルを望遠鏡で見ると白い星が2つ並んで見えます。

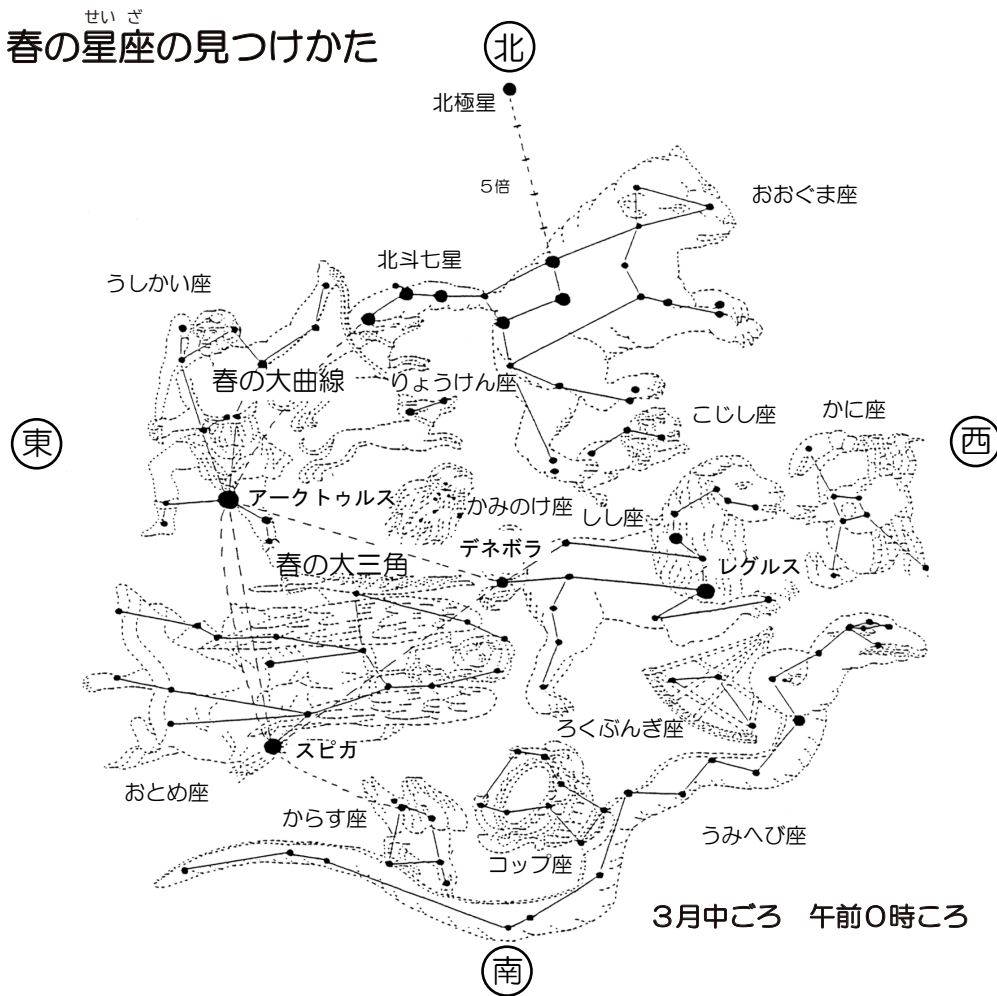


かに座
かに座は、ふたご座としし座の間にあります。空が暗いところ
でよく見ると、暗い星が小さな四角を作っています。この四角の
中には、プレセペ星団 (M44) と呼ばれる星の集まりがあり、
肉眼でも見ることができます。



しし座
「？」マークを左右裏返しにしたような星の並びが、しし座の
目印の「ししの大鎌」です。この大鎌のいちばん下で白く輝く星
が1等星のレグルス、しっぽの星が2等星のデネボラです。今
にもジャンプしそうな姿を星空に作るすることができます。

春の星座の見つけかた

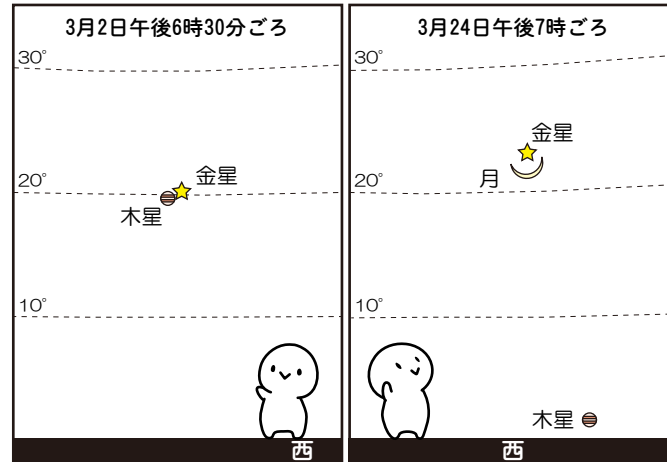


3月中ごろ 午前0時ごろ

- 1 北の空で、北斗七星を見つけます。
- 2 北斗七星の柄のカーブを伸ばし、うしかい座のアルクトゥルス、おとめ座のスピカ、からす座と続く「春の大曲線」を見つけます。
- 3 アルクトゥルス、スピカ、しし座のデネボラでつくる「春の大三角」を見つけます。
- 4 しし座の頭から胸にかけての星を結んでできる、「？」を左右裏返しにした星の並びの一番下で輝く星がレグルスです。
- 5 星座の中でもっとも大きいうみへび座、2番目に大きいおとめ座、3番目に大きいおおぐま座を見つげることができると楽しいですね。

月と金星と木星

夕方の西の空に、明るい2つの星が輝いています。より明るい方が「宵の明星」ともいわれる金星、もう1つが木星です。金星と木星は3月2日に一番近付いて見えます。明るい2つの惑星が寄り添う、美しい夕景が見られるでしょう。24日になると、今度は金星のすぐそばに細い月が並んで見られます。沈むのが早くなってきた木星は、今月上旬で見納めです。金星は7月7日が最も明るくなるため、これから初夏にかけて、ますます輝きを増していきます。明るさの変化にもぜひ注目してみてくださいね。



プラネタリウム100周年

1923年に近代的なプラネタリウムの機械が開発されてから、今年でちょうど100年になります。この一世紀の間に、天文学や科学技術の進歩とともにプラネタリウムも大きく発展してきました。そして、富山科学博物館のプラネタリウムもリニューアル！1億個もの星を再現できる最新式の投映機と、4Kレーザープロジェクターによる新たなデジタル映像システムとで、



今まで以上に美しい星空と迫力満点の映像を楽しむことができます。また、3階の天文展示室もバージョンアップ！新しくなったプラネタリウムへ、ぜひお越しください！

